

2023年度大阪府立大学看護学系同窓会白鳥会会報誌に寄せて 統合前と統合後「看護への思い」をつなぐ一国際交流活動を通じて



大阪公立大学看護学部教授 志田 京子

このたびは白鳥会 2023 年度会報誌のご発行、心よりお慶び申し上げます。また、白鳥会の会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察し、お慶び申し上げます。2022 年に大阪市立大学と統合となり、残すところ、2020 年、2021 年次の入学生の修了を待つのみとなりました。振り返れば、2005 年に大阪府立看護大学より、大阪府立大学に統合されました。大阪府立看護大学時代に看護学研究科が新設（1998 年）されました。修了生たちは大阪府下のみならず、世界に羽ばたいて活躍している者も多数おります。

私は、2013 年より本学に奉職し、地域保健学域、基礎看護学分野において、看護管理学の教育に携わってまいりました。入職した当初より、大阪都構想のスローガンのもと、大阪市大と大阪府大の統合が叫ばれておりましたので、「いつかは統合するのだろうか」と漠然としておりました。いざ、統合が確定すると、両大学の持つ組織文化や譲れない価値観に触れ、その難しさに気づかされました。しかしながら、いったん統合が決定してからは、両大学のいいところを最大限に活かし、持続性の高い看護教育を目指して、看護教員は一丸となってあゆみ続けております。

私は入職当初より国際交流委員長として、学生および教員の国際交流活動推進に取り組んでまいりました。入職以前から、本学ではタイ王国マヒドン大学看護学部と交流協定を結び、定期的な大学院生の 2 週間の派遣交流活動を実施しておりました。2018 年からは、大学院生だけでなく学部生の交流も推進するべく、学部 4 年生を対象に、マヒドン大学で実施する 2 週間のサマープログラムに参加する機会を得ました。残念ながら、2019 年から 2022 年までは、COVID-19 の感染拡大に伴い、中止にせざるを得ませんでした。2023 年から再開いたしました。2023 年度は博士前期課程 5

名、学部生 5 名（うち、府大生 4 名、市大生 1 名）が交換プログラムへの参加希望があり、改めて学生たちの国際交流への関心の高さに気づかされました。

2023 年の学部生のサマープログラムを引率いたしました。インドネシア、香港、台湾、タイの看護学生らと交流し、お互いの国のヘルスケアシステムの紹介をしあったり、看護教育や国家試験などについての情報交換をいたしました。研修から帰国したのちは、大阪公立大学 1 年生に向けて、研修で学んだ異文化交流、国際交流について、5 人で協力しながら発表をしてもらいました。今回の参加者は入学した大学は大阪府大と大阪市大と違うのですが、共通の下級生である大阪公立大学生に向けて自らの学びを伝えてくれました。このような伝える場を持つことによって、学生間で継続的な国際交流につなげてくれると思っています。

新しい公立大での新しい看護教育には、「国際化」を大きな方針に挙げております。大阪府大、大阪市大のもつ国際交流の歩みを大切にしつつ、国際貢献をめざす人材として府大生、市大生、公大生たちには、そのつながりを大切にしながら、大きく羽ばたいてほしいと思っています。



サマースクールでの記念写真



会長挨拶

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。平素より大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会）の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。大阪府立大学は、2022年4月に大阪市立大学と統合し、大

阪公立大学として新たなスタートを切りました。同窓会においても大阪公立大学看護同窓会が発足し、2025年度には白鳥会も新たな同窓会へと吸収されます。白鳥会では同窓会の移行に向け、当会で保有していた物品の整理や住所録の移管に向けた準備を進めております。

2023年9月2日にI-siteなんばにて第18回の総会・同窓会を開催いたしました。コロナ禍で長らく実現できなかった対面での開催となりました。多くの方にご参加いただき、会場は終始和やかな雰囲気でした。ご講演では、大阪府立大学の初代看護学部長をお勤めになった青山ヒフミ先生に、「心理的安全性からみた仕事を支える言葉たち」というテーマでお話いただきました。冒頭では、懐かしい先生方の金言をご紹介いただき、開始早々会場が温かい雰囲気に包まれました。チームの生産性を高めるために心理的安全性がいかに重要

看護学部6期生・
大学院博士前期課程13期生 浅井 克仁

か、心理的安全性を高めるための具体的な方法について教えていただきました。医療では勿論のこと、チームで取り組むことはあらゆる分野において不可欠です。チーム内でお互いが自由に意見を言えるために、心理的に安全な環境を構築することが根幹をなすことを実感できました。また、そのために自分たちがこれからどのようにすればよいか、考えるきっかけをいただくことができました。ご講演の最後に青山先生自身の近況もご報告いただき、多岐にわたるご活躍に感服いたしました。ご参加いただいた多くの方の刺激になったことと存じます。総会後の懇親会では、ご参加いただいた皆さまの笑顔が溢れる場となり、改めて対面での開催ができたことを喜ばしく感じました。白鳥会として最後の総会を素晴らしい会にできたと実感しております。今の同窓会の良い雰囲気大阪公立大学看護同窓会にも受け継いでいけるよう、今後も活動に励みたいと思います。

新たな同窓会におきましても、同窓生の皆さまのお力添えをいただき、同窓会活動に取り組んで参ります。形は変わりますが、これまでの同窓生の皆さまの憩いの場となるよう同窓会を作っていきたいと思っております。今後とも皆さまのご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2023年度に就任された先生方からのご挨拶

実践看護科学領域
家族支援看護科学分野 母性看護・助産学

准教授 清水 彩

白鳥会の皆様におかれましては、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。2023年4月に実践看護科学領域 家族支援看護科学分野 母性看護・助産学の准教授として着任しました清水彩と申します。大阪公立大学が、大学院にて助産師教育を開始するタイミングに着任させていただいたご縁に、たいへん感謝しております。

私は、神戸大学医学部保健学科看護学専攻を卒業後、都内の総合周産期母子医療センターの産科・MFICU病棟とNICU・GCU病棟の両方に、助産師として勤務しました。その後、聖

路加看護大学（現：聖路加国際大学）の博士前期課程修了後から教職に転職し、神戸大学大学院保健学研究科にて博士後期課程修了後から、研究指導にも従事して参りました。現在、母性看護・助産学の教育／研究指導をするとともに、早産児のストレス低減をめざしたディベロップメンタルケアやご家族の育児支援に関する研究活動を継続しています。

着任の頃よりは慣れてきたものの、多方面にご支援を賜りながらの日々を過ごしています。将来、より良い教育・研究を通して、大阪公立大学での母性看護・助産学の教育・研究の発展に尽力すべく、自己研鑽している所存です。白鳥会の皆様にも、今後ともお力添えいただきたく、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願ひ致します。

実践看護科学領域
基礎看護科学分野 看護技術学

准教授 土肥 美子

2023年4月に基礎看護科学分野 看護技術学の准教授として着任しました土肥美子と申します。私は、看護師として公立病院等の勤務後、看護基礎教育に携わり、2016年に大阪府立大学大学院看護学研究科博士後期課程を修了しました。現在は、看護教育の発展を目指して、看護技術に関する研究や大学教員の能力開発に関する研究に取り組んでいます。

昨今、医療環境の変化に伴い看護職の役割拡大が期待されています。看護学士課程教育においては、さまざまな保健・医療ニーズに対応できる看護職を育成することが使命です。大阪府立大学と大阪市立大学の統合により本学は国内最大規模の公立総合大学となり、看護学生は今まで以上に多くの学問を学ぶ機会に恵まれるようになりました。さまざまな保健・医療ニーズに対応できる能力を身につけるためには最良の学習環境だと思っております。そのような学習環境を有する母校に貢献できるよう努めて参ります。どうか皆さま、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひいたします。

第18回 大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会） 同窓会総会開催しました！

2023年9月2日（土）、大阪公立大学 I-site なんば（ライブ配信あり）にて、白鳥会としては最後の同窓会総会を開催しました。

講演は、大阪府立大学看護学部長をお務めになられた青山ヒフミ先生にお越しいただきました。たくさんのお同窓生や来賓の方々にご参加いただき、盛況となりましたこと、感謝申し上げます。

【内容】

I部 総会

II部 同窓会

基調講演 **青山ヒフミ先生**

〔千里金蘭大学大学院看護学研究科特任教授〕
〔大阪府立大学 元看護学部長〕

「心理的安全性からみた仕事を支える言葉たち」

III部 懇親会



同窓会に参加して

大阪府立看護大学大学院看護学研究科 博士前期課程7期生

葉山 有香

ここ数年、コロナの影響で対面での白鳥会は開催されておらず、今回、対面とオンラインという形で開催されると知り、久しぶりに参加させていただきました。大阪府立看護大学、大阪府立大学、大阪公立大学と新しい大学の形に変化することで白鳥会も変化していくことを改めて総会で聞き、大阪府立看護大学で学んだ私としては、時代の流れをしみじみと感じました。

第1部の総会では、自分も年を取ったなぁとやや寂しくなったのですが、第2部青山先生の基調講演「心理的安全性からみた仕事を支える言葉たち」を聞くと気分が一転、学生時代

に受けた授業の語りそのままの優しい口調に心が癒され、また、先生の現在のバワフルな活動を知ることによって「まだまだ自分も頑張らないといけないな」と元気をいただきました。

第3部の懇親会では、青山先生、千代先生、末原先生、田中京子先生など学部生時代に教えていただいた懐かしい先生方との交流や会場に集まった皆さんが楽しそうに話している姿に、また元気をいただきました。

同窓会は、時代をつなぐ素晴らしい組織だなと実感する半日となりました。白鳥会の開催にご尽力くださった先生方や役員の皆様、本当に楽しい時間をありがとうございました。

令和5年度白鳥会同窓会に寄せて

大阪府立看護大学4期生

増田 知奈

同窓会案内に掲載された青山先生の懐かしいお顔と、基調講演のタイトルにあった「心理的安全性」「言葉」というキーワード。それが22年ぶりの同窓会参加に至った決め手でした。

講演導入部分の懐かしい諸先生方と青山先生とのエピソードは一気に学生時代が蘇り、先生方のお人柄を垣間見られてとても楽しかったです。また、ご講演の内容は個々の能力を活かし力を発揮しあえる組織を実現するリーダーのあり方・伝え方・場の巻き込み方など実際の現場ですぐに活かしたくなる内容が豊富で、書きとめたメモは今読み返しても同窓会の感動をありありと伝える「愛蔵版資料」になりました。管理者として毅然とした姿勢は保ちつつ穏やかでチャタリングに語られる青山先生が地域コミュニティで取り組まれている事例も伺うことができ、とても興味深かったです。

母校の大きな転換点にあたる今回の同窓会。でも大学で培った経験や学びは活動の場がどこであろうと変わらぬ土台

となり私を支えてくれる力となり、多くの素晴らしい先生方、同窓生とのお縁も未来に繋がっている。そんな幸せを強く感じた同窓会でした。母校のさらなる飛躍と発展を心より願っております。ありがとうございました。



白鳥会同窓会にて青山先生と



白鳥会同窓会にて末原先生と千代先生

◆◆ 同窓会顧問を終えるにあたってのご挨拶 ◆◆



大阪府立看護大学・大阪府立大学の卒業生・修了生の人数を表にまとめました。大阪を中心に近畿圏で多くの看護師、保健師、養護教諭、CNSや大学教員等としてご

活躍され、信頼され、保健・医療・教育の質の向上に貢献されています。

さて、学部の教育目標を覚えていますか？

1. 人間の痛み、苦しみを分かち合え、幅広い教養を身に付け、生命の尊厳について深く理解し、行動できる豊かな人間性を養う。
2. 看護に必要な知識と技術を習得し、科学的根拠に基づく適切な判断と問題解決能力とあわせ、社会の変化や医療技術の発展に対応できる能力を養う。
3. 保健・医療・福祉、教育、地域においてヒューマンサービスを提供する人々と連携し、看護の実践と調整的な機

大阪公立大学看護学部教授 杉本 吉恵

能を果たす能力を養う。4. 変化する社会の中で看護の役割を展望し発展させ、地域的・国際的な視野で貢献できる能力を養う。5. 看護学への関心を深め、総合的な視野と看護研究の基礎能力を養う。

大阪公立大学看護学部になり、1番の「人間の痛み、苦しみを分かち合え」という表現がなくなり、寂しさを感じています。白鳥会は今後、発展的に大阪公立大学看護同窓会に統合していきますが、この機会に学部の原点に戻って、この目標をじっくり読み返す時間をとっていただけたらと思います。

最後になりましたが、2024年4月から山口県にある周南公立大学で勤務することになり、今年度末で顧問を終えることになりました。後任は北村愛子教授となります。引き続きよろしくご祈り致します。文末となりましたが、皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

卒業生・修了生数

(名)

学士課程卒業生数		
大阪府立看護大学看護学部		965
大阪府立大学看護学部		876
大阪府立大学地域保健学域看護学類		984
総 数		2,825
大学院修了生数		
	博士前期課程	博士後期課程
大阪府立看護大学大学院	106	24
大阪府立大学大学院	380	54
総 数	486	78

「羽曳野キャンパスクロージングセレモニー(仮)」

2024年10月26日(土)のご案内

2025年4月から看護学部は阿倍野キャンパスにまとまるため、羽曳野キャンパスが役目を終えることとなります。そこで、「羽曳野キャンパスクロージングセレモニー(仮)」を開催し、同窓生、学生、教職員、近隣の地域の方々にご案内をすることになりました。杏樹祭と同じ日の2024年10月26日(土)午後1時からセレモニーを実施し、その後に吉本のお笑いライブ予定です。是非とも同窓生をお誘いあわせの上、羽曳野キャンパスにお越しください。



白鳥会看護研究助成

周閉経期の女性の妊孕性の低下の認識と 避妊の意思決定の関連

大阪公立大学大学院看護学研究科博士後期課程

三浦 恭子

この度は、大阪府立大学大学院 博士前期課程在学中に白鳥会看護研究助成をいただき、ありがとうございました。

修士課程では「周閉経期の女性の妊孕性の低下の認識と避妊の意思決定の関連」をテーマに、周閉経期女性に対して、質問紙調査を実施いたしました。避妊の意思決定と妊孕性の低下の認識の関連、避妊の意思決定と避妊行動の関連について調査しました。その結果、妊娠を望まない周閉経期女性において妊孕性の低下の認識が高い女性は、認識が低い女性に比べて避妊をする意思が弱いこと、避妊する意思が強い女性は効果の高い避妊法を使用し、毎回避妊をしていることが明らかとなりました。これらよ

り、もう妊娠しないだろうという認識から避妊しないという選択をするのではなく、妊娠を望まない場合は、避妊をする意思を強く持つことが確実な避妊につながると考えます。そのためには、周閉経期はホルモン変動により排卵時期の予測が困難であること、閉経を迎えるまで妊娠をする可能性があることを周知することが重要であると考えます。今後は周閉経期の特徴を捉えた妊孕性に関する情報提供とともに避妊の意思決定への支援を検討していく所存です。この研究で明らかになったことを踏まえ、今後も実践や研究を通してウィメンズヘルスに寄与できるよう尽力していきたいと思っております。この度は貴重なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

第2回

大阪公立大学

ホームカミングデーに参加しました

2023年11月4日（土）に第2回大阪公立大学ホームカミングデーが開催され、中百舌鳥キャンパスで行われた大学創基140年事業記念講演・懇親会に参加しました。

同日、白鷺祭が開催されており、中百舌鳥キャンパスは、多くの学生や地域住民の方々に賑わいをみせていました。

記念講演では、大阪府立大学卒業生の株式会社SkyDrive CTO岸 信夫様が「空の移動革命への挑戦～日本発空飛ぶクルマと物流ドローン～」と題して、ご講演くださいました。未来を牽引する夢のあるお話で、ワクワクしながら聴かせていただきました。また、懇親会では、大阪公立大学混声合唱団による旧大阪府立各大学の学生歌の合唱があり、大阪府立看護大学の爽やかな学生歌を懐かしい思いを抱きながら聴かせていただきました。

「あなたと私が明日の医療を創造る ここは大阪看護大学 世界へはばたく夢がある（歌詞2番）」この思いは忘れずに、未来の看護を創造していきたいと思っておりました。



白鳥会の皆様へ

大阪府立大学校友会 会長
大阪公立大学校友会 副会長 仁科 亮子

この度の総会に出席させていただき、第15回総会に出席させていただいたことを思い出しました。当時は、大阪女子大同窓会斐文会理事長としての出席でした。開学20周年記念総会として、ホテルを会場に、盛大に祝っておられたことが懐かしく蘇ってきました。大阪女子大卒業生である私にとって、大半の会員が女性であるという共通点、長く大阪府の福祉分野で仕事をしてきた関係から、看護職の果たす役割の大切さを痛感してきた経験から改めて、皆様方の職としての偉大さを感じさせていただきましたし、子どもさんを伴った出席者もあり、圧倒的に若い組織でした。総会では、浅井会長を中心に、議事がスムーズに進められ、次へのステップの、大阪市立大学看護学系同窓会との統合（融合とも評されていましたが）のための審議も行われました。

11月に予定されている総会は、その一歩として、大阪公立大校友会の看護系単位同窓会の新たなスタートとなることも窺いました。

令和2年7月から始まった同窓会の統合に向けた議論の中で、貴会に所属する山口さんと、多数の男性に交じって意見を闘わせたものです。これまでの役員の皆様方を中心とした様々なご苦勞や、ご尽力を垣間見せていただいた者として、とても感慨深い思いです。引き続き行わ

れた青山先生のご講演の旧師紹介で大阪府高齢者保健福祉計画策定時に、委員としてご就任いただいた、津村先生はダンブカーのようで「死んだらずっと寝ておれる」と。甲南女子大リハビリテーション科を設置するために担当部長として奮闘されていたご様子を懐かしく思い出しました。確かに、そういう先生だったなど。青山先生ご自身のライフスタイルに合わせられた内容も豊富で、素晴らしい講演を聞かせていただきました。

さて、府大校友会は、残り1年数か月となりました。理事会、評議員会、大学関係者の皆様方のご支援やご協力を得ながら、何とか、府大校友会としての役割を果たせるように努めてまいりました。

11月4日に開催されるホームカミングデーでは、府立大の創基140年を祝う懇親会の財政支援を行います。今年度は、府大校友会の資産を有効に活用するため、府立大、及び在学生への財政支援を中心に、予算を組みました。

府大校友会は、残り1年数か月となりましたが、今後も皆様方のご協力・ご支援のもと、会の活動とともに、公立大校友会へ繋ぐ役割も果たしたいと考えております。

開学30周年の節目に、新たなステップを踏まれ、今後、ますます、同窓会活動の中軸として活躍されることを期待します。

新しい出発

大阪府立大学東京同窓会 会長 山田 昭正

9月2日の白鳥会の総会に最後の総会という事でしたので参加させて頂きました。東京同窓会と違って会場の雰囲気は柔らかさがありますね。これは看護師と言う人を対象にする学問ひいては職業からくるものなのでしょうか。青山ヒフミ先生のお話は現役時代に聞いていればもっと役立だったものと残念です。11月12日には大阪公立大学看護同窓会の設立総会が行われるようで同じ学問を目指している学部の同窓会でもそれぞれの歴史が違うので運営が少しずつ違うところを調整するのは結構大変です。新卒業生のためにも新大学にふさわしい同窓会を作ってください。

現在大阪公立大学校友会では府大の4地域同窓会（東京 名古屋 岡山 広島）と市大の39支部を核にして大阪公立大校友会支部の全国ネットワークを作るべく準備を進めています、2024年から順次新体制を目指します。

東京では府大・東京同窓会と市大・首都圏5部（東京、千葉、埼玉、横浜、湘南）を大きな（仮）ブロック支部に纏め共通する業務を一本化し広域的な運営を行うと共に各支部の地域密着活動を並立する形でより両校の交流、懇親が図れる組織を目指しています。昨年の6月から東京同窓会の代表と首都圏5支部の支部長が定期的に集まり統合に向けた協議や時には懇親を行い進めております。今後は貴会を初めとする大阪公立大校友会学傘下の同窓会会員にも広げて行きます。

今春大阪公立大学硬式野球部が全日本大学野球選手権大会（神宮球場）に唯一の国公立大として出場しました。府大、市大の同窓会では協力して応援横断幕を作って応援に行きました。結果は1回戦敗退でしたが両校同窓会が一緒になって新しい公立大学を応援する事が出来たのは大変意義ある応援でした。



2024年2月12日（月・祝）に御茶ノ水の東京ガーデンパレスにて「〈大阪府立〉大学創基140年東京記念大会」を行います。同じ〈大阪府立〉大学としての歴史をもつ同窓会として一緒に創基140年を祝いませんか。東京地区在住の皆さんの多くの参加をお待ちしています。

白鳥会の皆さまへ

大阪女子大学同窓会斐文会 理事長 吉年 千寿子



先日は白鳥会総会にお招きいただき、青山ヒフミ先生のご講演を拝聴する機会を得ることができましたこと、心から感謝しております。

白鳥会の皆さまの看護学に対する熱情と、綿々と引き継がれている伝統に深い感銘を受けました。青山先生のご講演からは、看護職という高い専門性に裏打ちされた

矜持と、温かいお人柄がひしひしと伝わってきました。これからも、看護学系同窓会としての絆と役割は貴重なものだと思います。公立大学看護同窓会として、今後ますます発展されることをお祈りいたします。

大阪女子大学同窓会斐文会は、1924年に創設された

「大阪府女子専門学校」の卒業生が巣立った1928年3月に活動を始め、2028年には100周年を迎えます。

母校は当初、帝塚山の地に学舎があり、1949年に新制「大阪女子大学」となって再出発しました。1976年には大仙キャンパスに移転、府立3大学統合を経て中百舌鳥キャンパスに移転し、2008年3月に大阪女子大学第56期生の卒業をもって幕を閉じました。

この長い歴史の中で、卒業生たちは、教育、福祉、行政、文化、経済界などの幅広い分野で活躍し、女性として最先端の教育を享受した恩恵を社会に還元してきました。その卒業生の心の拠り所としての役割を担い、斐文会はこれからも独自に活動を続けます。

公立大学の同窓会の皆さま方とは今後も協力連携できますよう、よろしく願いいたします。

大阪公立大学看護系同窓会からのご挨拶

会長挨拶

桑鶴 由美子

2023年11月12日大阪公立大学看護同窓会設立記念総会を開催いたしました。総会の承認を受け会長に任命されました桑鶴由美子です。当日は辰巳砂学長様からのご挨拶と田中看護学部長様はじめ各同窓会より白鳥会会長浅井様、よつば会会長松本様にご臨席いただきました。また、設立総会にあたり記念講演として元大阪府健康医療部長、現大阪教育大学副学長の藤井睦子様から「コロナ禍に何が起きていたか、アフターコロナを担う看護職へのメッセージ」のテーマで、リスク時に生きる力について私たち看護職にむけた力強いお言葉をいただくことができました。



設立総会記念写真

大阪公立大学看護同窓会は会員相互の親睦と交流を図り、会員の資質向上と大学の発展に寄与することを目的とし、前身である白鳥会・よつば会各々の歴史をしっかりひきついでいけるよう役員一丸となり活動いたします。これからもぜひ皆さまとともに歩んでいけるようご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

白鳥会会員の皆さま、大阪公立大学看護同窓会事務局です。2024年度以降、白鳥会の事業・活動は段階的に本事務局に移行となります。また同窓会活動につきましては、本会ホームページ (<https://www.omu-alumni.com/each-alumni/nursing/>) ならびに、公式Instagram (フォローお願いします!!) より情報発信しておりますので、ぜひご確認ください。白鳥会の歴史を引き継ぎ、同窓会活動を継続していきたいと思っておりますので、大阪公立大学看護同窓会活動へのご支援ならびに、総会等のイベントへのご参加を何卒よろしくお願い申し上げます。



ホームページ



公式 Instagram

大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会） 令和4年度会計報告

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

前年度繰越	2,932,306円
収 入	186,611円
支 出	585,502円
収支差引額	-398,891円
（令和5年度へ繰り越し）	2,533,415円

収入の部

科 目	金 額
終身会費 上記以外 12名分 （@ 10,000× 5 人） （@ 20,000× 7 人）	186,601
その他（受取利子）	10
合 計	186,611

※終身会費の振込み手数料(円)を除く

支出の部

科 目	金 額
寄附金	0
研究助成金	50,000
総会費	0
業務委託費	526,512
会議費（年2回実施）	7,080
消耗品費	0
人件費	0
その他（支払手数料、式典・校友会等出席経費等）	1,910
合 計	585,502

以上の通り会計報告致します。

令和5年3月31日

大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会）

会 長 浅 井 克 仁



会 計 山 内 加 絵



赤 崎 芙 美



令和4年度同窓会会計の諸帳簿、書類等の監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会）

会計監査 高 知 恵



森 脇 勉 一



事務局からのお知らせ

○大阪公立大学看護同窓会との統合に向けた住所録の管理について

第18回大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会）総会でご承認いただきましたとおり、現在株式会社サラトに委託し管理をしている白鳥会会員の住所録につきましては、2025年度より大阪公立大学看護同窓会にて管理をいたします。適切な管理を継続しますので、ご理解の程、よろしくをお願いいたします。

○白鳥会所管の物品廃棄について

第18回大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会）総会でご承認いただきましたとおり、白鳥会で所管しているパソコンやDVDプレーヤー等につきましては、耐用年数を超えているため適切に廃棄をいたします。

○白鳥会のホームページをご覧ください

皆様に同窓会の活動や母校の“今”を知っていただくために、随時、情報を発信しております。ぜひホームページをご覧ください（QRコード参照）。



〈白鳥会HP QRコード〉

○住所や姓名変更のお願い

例年、会報誌や同窓会総会の案内を送付していますが、宛先不明の方が多くなっております。住所や姓を変更された方は、白鳥会HPから変更のご連絡をお願いいたします。母校の情報をお届けしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

2023年度 同窓会役員の紹介

会 長：浅井克仁
 副 会 長：井上敦子、田中真一
 書 記：土肥美子、大泉綾亮、水本英佑
 会 計：山内加絵、赤崎英美
 会 計 監 査：高知恵、三浦恭子
 事 務 局 長：深山華織
 事 務 局：中村雅美、安本理抄、菊川佳世、金山悠、宇田川直子
 新学年幹事：（学類）小阪蘭、小西野乃花、佐野実央

編集後記 水本英佑

日差しに春の温かさを感じられるようになりましたが、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へと移行したことで行動制限はなくなり、以前のような生活が戻ってきました。感染対策を行いながらではありますが、外食や旅行がしやすくなり、休日の計画を立てることを楽しみに日々を過ごしております。

しかしながら、ウイルスは消滅したわけではなく、感染者数は増減を繰り返しております。現在も引き続き医療現場で働かれている卒業生の皆さんには心より感謝申し上げます。

最後になりますが、ご多用の中、会報誌にご寄稿くださいました皆様に心から御礼申し上げます。